

# 布を引っ張り出す 準備シート

保護者用 A4 4 ページ | 説明図つき

この紙は保護者の準備と記録用です。切って遊ぶ教材・実寸型紙ではありません。大人がすぐに止められる距離で見守り、口・鼻・首まわりにも注意します。

## 1 用意する物を選ぶ

- ・箱 1 個。清潔で乾き、軽く、平らに置ける。大人が開けて布を戻せる。
- ・布は 1 枚から。四辺が縫われ、毛羽、ほつれ、穴、飾りや長いタグがない。
- ・布は短く独立した物。つながない、結ばない、輪にしない。寸法だけで安全を決めない。
- ・出した布を置く空の場所。予備と濡れた布は別にして大人が管理する。

## 2 箱の縁と中を確かめる

紙箱はフィルムや紙片を全部取り除く。必要な切り口の処理は大人だけで行い、全周をなぞって尖りや引っかかりを確かめる。縁をテープで覆う場合も、内外に浮き、しわ、粘着面を残さない。布を通してめくれないかを試す。

テープで安全が保証されるわけではない。かじる、剥がす、箱が濡れる・つぶれる場合は中止。補修を重ねず箱を替えるか、活動を見送る。金具、挟むふた、輪状の持ち手がある物は避ける。

## 3 最初は 1 枚で試す

布をゆるく二つ折りにして箱の底へ置き、上側の端だけを穴から出す。ぎゅうぎゅうに詰めない。大人が引いて抵抗を確認してから見せる。子どもが自分で安定して保てる姿勢と、顔の前へ引かずにすむ箱の向きを選ぶ。

## 始める前の確認

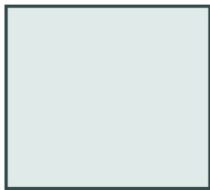
- ☐ 大人がそばを離れず、家事や電話と同時にしない。
- ☐ 口へ運ぶことが中心の日、眠い日、体調が悪い日は見送る。
- ☐ 顔にかぶせる・口へ入れる・首や体に巻く動きが出たら、すぐ止める。

紙ティッシュは使いません。ちぎれた紙片を口へ入れるおそれがあります。布も口鼻を覆ったり、繊維がほつれたりするため、その都度点検が必要です。

## 折り方と再セットの説明図

1枚ずつゆるく準備します。図の大きさは材料の寸法や安全基準を表していません。

### 1 1枚ずつ点検



縫い目と四辺を確認

結ばない 輪にしない

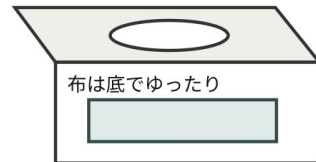
### 2 ゆるく二つ折り



ぎゅっと押しつぶさない

箱に収まらなければ布を見直す

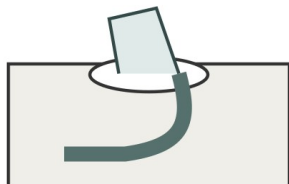
### 3 1枚だけ底に置く



布は底でゆったり

前面を透かした説明図

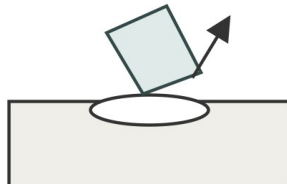
### 4 上側の端を出す



先端だけ見えてつかめる形

出しすぎず 穴に詰め込まない

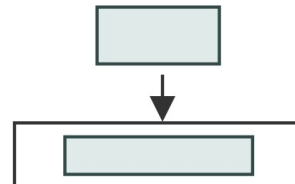
### 5 1枚ずつ引き出す



大人は箱の横を軽く支える

引く方向に顔を近づけない

### 6 開けて戻す



出した布を点検してから戻す

狭い穴に指で押し込まない

外へ出すのは見てつかめる端だけ。狭い穴へ手や布を押し込まず、箱を開けて戻します。

## 出したあとに戻す順番

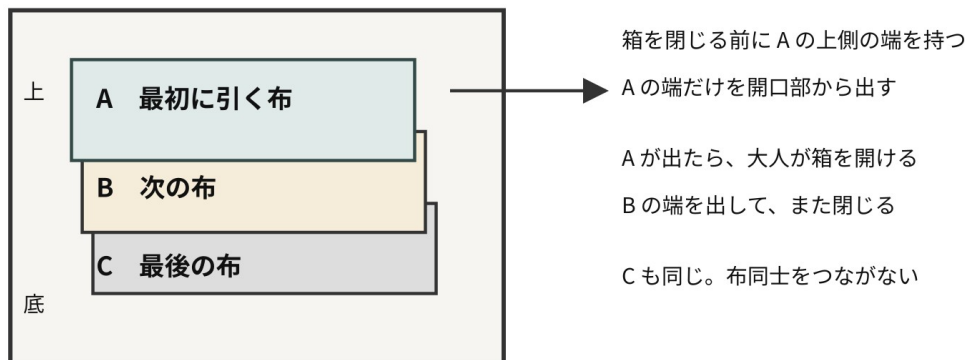
- 1 最初の枚数と照合し、濡れ、汚れ、ほつれがないかを見る。
- 2 使える布を広げ直す。汚れた布は洗う物へ分ける。
- 3 箱を開けて、ゆるく折った布を底へ置く。
- 4 上側の端だけを開口部から出して閉じ、大人が試し引きする。

子どもが戻したがるときは、開けた箱へ布を置くところを一緒に。折り方や端の位置は大人が整え、狭い穴へ指で押し込ませません。

## 3枚にするときも布は別々

### 独立した布を3枚使うとき

重ねる順を広げた説明図。実際は箱の底から C → B → A と重ねます。



自動で次の布が出なくても大丈夫です。無理に重ね合わせたり、結んだりしません。

まとめて出る・引っかかるときは1枚だけに戻し、布の厚さと折り方を見直します。

説明図です。実寸型紙・安全寸法・教材の性能試験を示す図ではありません。

取り出した布に濡れやほつれがなければ広げ直して戻す。次の端が自然に出なくても、大人が箱を開けて出し直せば大丈夫です。1枚で繰り返してもかまいません。

### 置くときと出すときの順番

置くときは下から C → B → A。A は上側の端が開口部へ届く向きに置きます。布を互いに挟み込んだり、結んだりしません。

出すときは A → B → C。A が出たら大人が B の端を出し、B が出たら C の端を出します。布の量や厚みで詰まる場合は、1枚だけに戻します。

### 次の準備を変える目安

端が見えないなら、箱を開けて位置を整える。引いても出ないなら、折り方をゆるくする。箱が動くな  
ら、大人が横を軽く支える。力を強めるために穴を狭くする必要はありません。

## 毎回の点検と記録

日付\_\_\_\_\_ 見守る大人\_\_\_\_\_

### 始める前

- ☐ 布の四辺、縫い目、毛羽、糸、穴を点検した。布を結んでいない。
- ☐ 箱の内外と縁に破片、尖り、外れそうな物、テープの浮きがない。
- ☐ 大人が引いて試した。強い力は要らず、箱がつぶれたり持ち上がったたりしない。
- ☐ 床と手が清潔。予備と使用済みの布を分ける場所がある。

最初の布の枚数\_\_\_\_\_枚 使った布や箱\_\_\_\_\_

### 見えたことを短く残す

端を見つけた様子／引く方向／箱を支えた手／大人が手伝ったこと

---

---

次に変えることは1つだけ 例 1枚に戻す／折り方をゆるくする／箱を替える

---

### 終わったら

- ☐ 出した枚数を数えた。最初の枚数と一致した。
- ☐ 口に触れた・濡れた・汚れた布を分け、洗濯表示に従って洗う。
- ☐ 十分に乾かしてから布の傷みを再点検する。濡れた紙箱や破損した箱は使わない。
- ☐ 布と箱を手の届かない場所へ。ベッド・寝具・乗り物に残さない。

終わりの枚数\_\_\_\_\_枚 洗う布\_\_\_\_\_枚 交換する物\_\_\_\_\_

口に入れる、顔を覆う、首や体に巻く、箱をかじる・投げる、材料が傷むときは中止。大きな布へ替えて続きません。呼吸や反応がおかしいなど窒息が疑われる場合は直ちに 119 番し、指示に従います。

安全確認の参考 消費者庁「子どもを事故から守る 事故防止ハンドブック」4・5・15 頁、Vol.589、Vol.607。出典 URL は本文完成案に収録。2026 年 10 月 14 日作成。